

節水で地球温暖化対策

— 北海道洞爺湖サミット開催に合わせ

環境問題を考える—

世界規模で「異常気象」が多く発生しています。記憶に新しいところでは、中国の大雪被害、北極海の史上最少記録となった海氷面積や南太平洋の沈む島ツバル。北海道でも一昨年、佐呂間町で発生した観測史上国内最大級の竜巻。昨年の北見市の水道にダメージを与えた局地的豪雨など。

これらの異常気象の発生と地球温暖化の因果関係は解明されていませんが、一般的には関連すると考えられています。今年、7月7日から北海道洞爺湖サミットが開催され、そのメインテーマは「環境問題」です。本町でも、環境に関連した協賛行事や支援を検討していますが、地球温暖化対策は、国レベルだけではなく、一人ひとりの活動でも実践できるものです。

安平町では、全職員がチーム・マイナス6%宣言をし、京都議定書で世界に約束した温室効果ガス排出量6%削減の目標達成に取り組んでいます。毎日の生活の中で、1人1日1kgのCO₂排出量の削減を目指そうという取り組みです。

CO₂削減のための6つのアクション

- ① 温度調節で減らそう。
- ② 水道の使い方で減らそう。
- ③ 自動車の使い方で減らそう。
- ④ 商品の選び方で減らそう。
- ⑤ 買い物とゴミで減らそう。
- ⑥ 電気の使い方で減らそう。



深刻な問題となっている地球温暖化。サミット開催に合わせ、皆さんも自分で出来る環境対策を考えてみてはいかがでしょうか。

そこで、節水することが地

<用語解説①>

地球温暖化：大気中の二酸化炭素、メタンなどの温室効果ガスは、太陽光により暖められた地表から宇宙空間に向かって放出される熱(赤外線)を吸収し、その一部をふたたび地表に向かって放出するため、表面や大気をさらに暖める効果(温室効果)があります。化石燃料の燃焼などの人間活動により、温室効果ガスが大気中に増えることで、地球の気温が上昇することを地球温暖化といいます。

球温暖化対策にもなり、さらに、安平町は昨年の降水量が少なく、水量、水質管理が大変であったことから、節水は温暖化対策と水道水確保の一石二鳥の効果があります。雪が少ない、雨が降らないと水道の水源が枯渇し、私たちの生活に大きな影響を与えます。安平町の降水量(気象庁：安平観測所)は、下のグラフのとおりですが、昨年は、ここ10年間で最も少ない雨量でした。

九州や四国地方では、水道の給水制限が頻繁に行われています。北海道は、豊かな水資源に恵まれていることから、給水を制限する事態に至ることは稀ですが、降水量が極端に少なくなると、その稀な事態となります。異常気象も頻繁におきると、「異常」とは呼べなくなります。

水も限りある資源であるこ

とを理解していただき、節水で浄水場の運転時間を短くし、CO₂を減らすことが地球温暖化対策となります。

皆さんも節水にご協力願います。

